



# 寺尾小だより



<学校教育目標> 「自ら進んで 学ぶ子 仲よくする子 きたえる子」  
<今月の生活目標> 「感謝して食べよう。」

川越市立寺尾小学校  
令和6年1月



## まとめの3学期

新年あけましておめでとうございます。  
今年もよろしく願いいたします。

さて、今年は辰年です。

十二支は、今から三千年以上前、紀元前千四百年頃、昔の中国で作られたものが元で、月日や時間、方位を把握するために利用されていました。それが、日本に伝えられ、江戸時代には庶民の間に広く知られるようになったそうです。農業との関わりが強く、農作物を育てる際の季節や天候の目安との暦としており、十二支は、農作物の成長の過程を12段階で表した意味をもっていました。

「辰」は、干支の十二支の5番目です。「辰」という字は「蜃（しん、はまぐり）」の原字で、二枚貝が足を出して動いている形態を表し、肉片などが動くという意味があります。中国の『漢書 律曆志』では、辰は「ふるう、ととのう」を意味する「振」であり、陽気が動いて万物が振動し、草木もよく成長して形がととのった状態を表すという意味になっています。中国伝来の十二支は、農作物の成長の過程、植物が循環する様子を表しているので、十二支の5番目が、草木の形がととのった様子を表す「辰」となっています。

また、辰年は、陽の気が動いて万物が振動することから、活力旺盛になって大きく成長し、形がととのう年だといわれています。そして、たつ（竜、龍）は、十二支の中で唯一の空想上の生き物であり、権力や隆盛の象徴であることから、出世や権力に大きく関わる年ともいわれています。「登竜門」という言葉もありますね。今年も勢いよく、活気のある年になるとよいと思います。

さて、学校は、「まとめ」となる3学期です。「辰」年の意味も込めて、これまでの努力がととって成果となり、勢いや成長がみられる3学期にしたいものです。子供たちの1年間の「伸び」を確かめつつ、充実した学年末となるよう、教職員一同力を合わせていきたいと思っております。保護者、地域の皆様の御支援御理解を宜しくお願いいたします。



## <かけ算九九>

2年生は、2学期に算数でかけ算九九の学習をしました。かけ算の意味を理解し、かけ算九九作りをしてから、かけ算九九の暗唱をしています。2年生は、「九九マッチョカード」に、先生方や保護者の方、3年生以上の上級生に九九を聞いてもらって、サインをもらいます。そして、最後は私のところで10問程度の問題にスラスラと答えられると合格となります。2学期末までに10名程が合格しました。冬休みや3学期も練習をして、全員合格を目指しています。かけ算九九を正しく覚えていると、3年生からの算数の学習でも役に立ち、生活場面でも使えます。子供たちへの励ましをよろしくお願いいたします。